




- 化石を調べると大昔の生物が〇〇したことがわかります。それは何ですか？一番適切なものを1つえらんでください。

正解:①生活

先カンブリア時代	古生代 						I 			新生代 		
	カンブリア紀	II	III	IV	石炭紀	ペルム紀	三畳紀	V	VI	VII	VIII	第四紀

- 上の表は、地球史年表です。この中でIに入る時代は何ですか？

正解:③中生代

- 上の表のII～VIIIに入る時代を正しく並べましょう。

正解:II④オルドビス紀 III⑥シルル紀 IV⑦デボン紀 V⑤ジュラ紀

VI②白亜紀 VII①古第三紀 VIII③新第三紀

- 「ニッポンの石」という由来から名前のついた「ニッポニテス」。化石の日制定のきっかけとなったこのアンモナイトはどれですか？



①



②



③



④



⑤

正解:②

- 右の化石はウソシジミという二枚貝です。この化石の殻には丸いあながあいていますがなぜあきましたか？

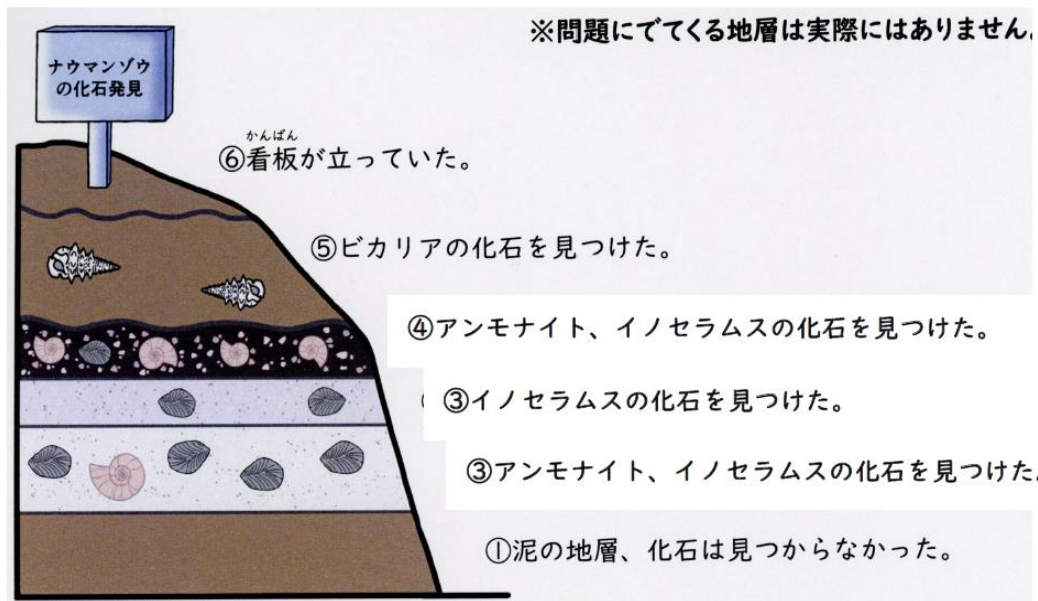


正解:①

解説:巻貝の一部は二枚貝をおそい、殻にあなをあけて中の身をたべます。この

あけられたあなを捕食痕(穿孔捕食痕)といいます。このあなは化石でもみ

られ、昔の生物の食う食われる関係を推定する資料となります。



- 道路の横に上のイラストに示す地層がありました。化石を探したところ、色々な化石が見つかりました。①～⑥の中で「白亜紀の地層である」と確実に言える地層はどれですか？すべてえらんでください。

正解：②、③、④

解説：アンモナイトやイノセラムスは中生代に生息していたの古生物です。それが

見つかる地層やその地層に挟まれる層は中生代の地層といえます。

- ④と⑤の地層の間には波のようなもようがありました。これは不整合です。地層の様子とみつかると化石から、④と⑤の間に起こったことがわかることを2つえらんでください。

正解：①、⑤

解説：不整合は、地層の上下に連続が無かったり、浸食が起こった証拠です。

アンモナイトが見つかった地層の上からビカリアの化石が見つかった

のは、④と⑤の地層の間に時間の間隙があった証拠です。